

県内小規模企業者・中小企業者が導入を希望される機械設備を当センターが購入し、割賦販売またはリースする制度です。

## 【お問い合わせ】

あきた企業活性化センター/  
経営革新・設備資金担当(018-860-5702)まで。

## 挑戦なくして前進なし 今こそ、次のステップにチャレンジするとき 株式会社クツザワ

景気の変動、グローバル競争の激化など、製造業を取り巻く環境は、ここ数年大きく変化している。そうしたなか、次の一手に果敢に挑む企業がある。

### 多品種少量生産、短納期が強み

株式会社クツザワは、鏡面加工や精密研削加工を得意とし、軸受関連部品や精密加工部品などを手がけている。創立は昭和55年、平成元年には法人化し、4半世紀の歴史をもつ。売上の約7割は、機械部品大手商社の製品。大手企業との取引は、加工技術はもちろんだが、それ以上に管理体制やスピードが問われる。同社では、発注を受けてから納品までにかかる時間「リードタイム」の短縮に力を入れており、受注から発送までなんと最短で3時間。「例えば午後3時半に受注したら、金属部材(材料)の切り出し、加工、表面処理などを経て、その日の午後6時半には発送できる」と沓澤好美社長。コストを抑えつつ、作業の効率を追究して、多品種少量生産や短納期を実現してきた。

### 次のステップを目指して

同社は創立以来、新しいマシンの導入や技術開発、工場の増設などを繰り返し、地道に事業を拡大してきた。今年7月には新工場が完成した。「創立から30年以上経った今、これからの『第2ステップ』としてこの工場を設けた。これまで築き上げた技術を活かして、次は何が出来るのか。従来の加工技術を極めつつ改善するところは改善して、新たなことにも挑戦していく。次を目指すことで自社の力を強化したい」と沓澤社長。当センターの設備貸与制度を利用して新工場に最新マシンを導入した。それは、1回のチャッキング(固定)で1度に5面が加工できる「5軸加工機(複合加工機)」というマシンだ。「5軸加工機を使って自分たちにできることの可能性を広げ



このたび導入した5軸加工機「山崎マザック Y軸旋盤」。マシンを導入したことによって「問い合わせと見積もり依頼が増えた」と社長室の佐々木進悟管理部長。

ることも導入理由のひとつ。

### さまざまな可能性に挑戦

こうした“攻めの姿勢”の背景には、沓澤社長の熱い思いがある。「ここ数年、日本の製造業は海外に工場を設ける動きが目立ったが、最近は国内に戻す傾向にある。今こそ日本の製造業者として実力を発揮したい」。さらに、新たな取り組みとして、自社で機械の設計から製造までを行うためにプロジェクトチームも発足した。今後は新工場の内部をお客様に見学してもらい、直接商談に持ち込む「工場ショールーム化計画」も進める予定だ。「今回の設備投資により、多くの可能性が広がっている。また、これまで、あきた企業活性化センターのアドバイザーから新規取引先を紹介してもらうこともあり、販路拡大の面でも助かっている」と沓澤社長。「営業力強化」を掲げ、前向きに次の一步に踏み出している。

### 株式会社クツザワ

[本社] 〒019-0701  
秋田県横手市増田町増田字館花20-1  
Tel.0182-45-3873  
Fax.0182-45-4744  
http://www.kutuzawa.co.jp  
[東京営業所] 東京都葛飾区東新小岩5丁目  
2-13 303号  
[神戸工場] 兵庫県神戸市北区赤松台2-3-1



手前が7月に完成した新工場。奥に見えるのが既存の工場。事業を拡大してきた跡が刻まれている。



大手機械部品メーカーのカタログ。製品の一部の製造をクツザワが担っている。



新工場のショールーム化に取り組む沓澤社長。写真は、設計から開発、製造まで自社で行ったマシン。